

大同メタル工業株式会社

2026年3月期 通期 決算補足説明資料

2026年5月12日

東証プライム市場
名証プレミア市場

証券コード:7245

実績

2026年3月期の売上高は、自動車需要の回復や新造船市況の堅調推移、船舶・データセンター向け発電機需要拡大により前年同期比増収
営業利益は、労務費増や関税影響があったものの、採算管理の強化や価格転嫁の進展等により、前年同期比増益

業績予想

2027年3月期の売上高は、船舶・データセンター向け発電機需要の伸長もあり、2026年3月期比で増収の1,450億円を予想
営業利益は、外部環境の不確実性が残るものの、採算管理強化の継続により、2026年3月期比で増益の95億円を予想

株主還元

2026年3月期の期末配当予想は、従前から3円増配の19円（前年度に対し13円増配の年間配当31円）に修正。配当性向は33.1%
2027年3月期の年間配当は、2026年3月期に対し5円増配の36円を予定配当性向は33.7%を見込み、中期経営計画に掲げる還元方針に沿って株主還元を実施

2026年3月期 通期実績（連結）

単位：百万円

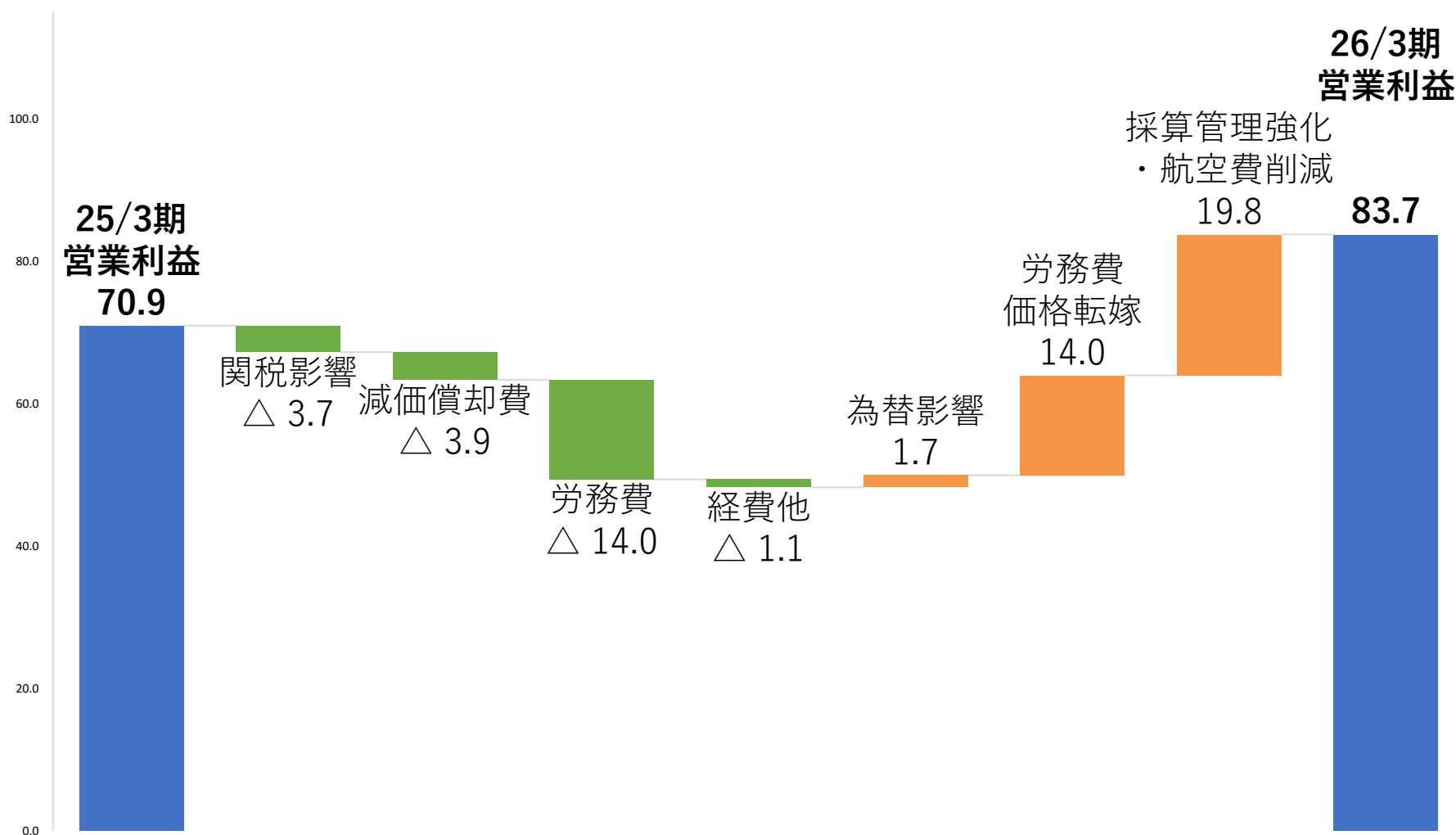


連結	実績		増減額	増減率
	25/3期	26/3期		
売上高	136,303	過去最高 142,009	5,706	4.2%
営業利益 営業利益率	7,091 5.2%	8,371 5.9%	1,280 0.7pt	18.1%
経常利益 経常利益率	6,820 5.0%	7,402 5.2%	581 0.2pt	8.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 純利益率	2,720 2.0%	4,396 3.1%	1,676 1.1pt	61.6%
自己資本当期純利益率 (ROE)	3.8%	5.7%	1.8pt	-
自己資本比率	37.0%	39.2%	2.2pt	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	36,649	36,418	△ 230	△ 0.6%
為替レート (1USドル/円)	158.18	156.56		
為替レート (1ユーロ/円)	164.92	184.33		

左記為替レートは 各期12月末TTMレート ※利益率は売上高比

連結営業利益の増減要因【実績】

単位：億円



労務費増、経費増、関税影響、減価償却費等により約22.7億円の減益要因が発生したものの、労務費増加分は価格転嫁により吸収。加えて、採算管理強化・航空費削減等により約35.5億円の増益を確保。売上増による利益寄与は、為替および価格転嫁の影響により概ね相殺。営業利益は前年同期比約12.8億円の増益。

2027年3月期 通期予想（連結）

単位：百万円



連結	実績	予想	増減額	増減率
	26/3期	27/3期		
売上高	142,009	過去最高 145,000	2,990	2.1%
営業利益 営業利益率	8,371 5.9%	9,500 6.6%	1,128 0.7pt	13.5%
経常利益 経常利益率	7,402 5.2%	過去最高 9,000 6.2%	1,597 1.0pt	21.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益 純利益率	4,396 3.1%	5,000 3.4%	603 0.4pt	13.7%
自己資本当期純利益率 (ROE) *	5.7%	6.5%	0.8pt	-
為替レート (1USドル/円)	156.56	153.00		
為替レート (1ユーロ/円)	184.33	182.00		

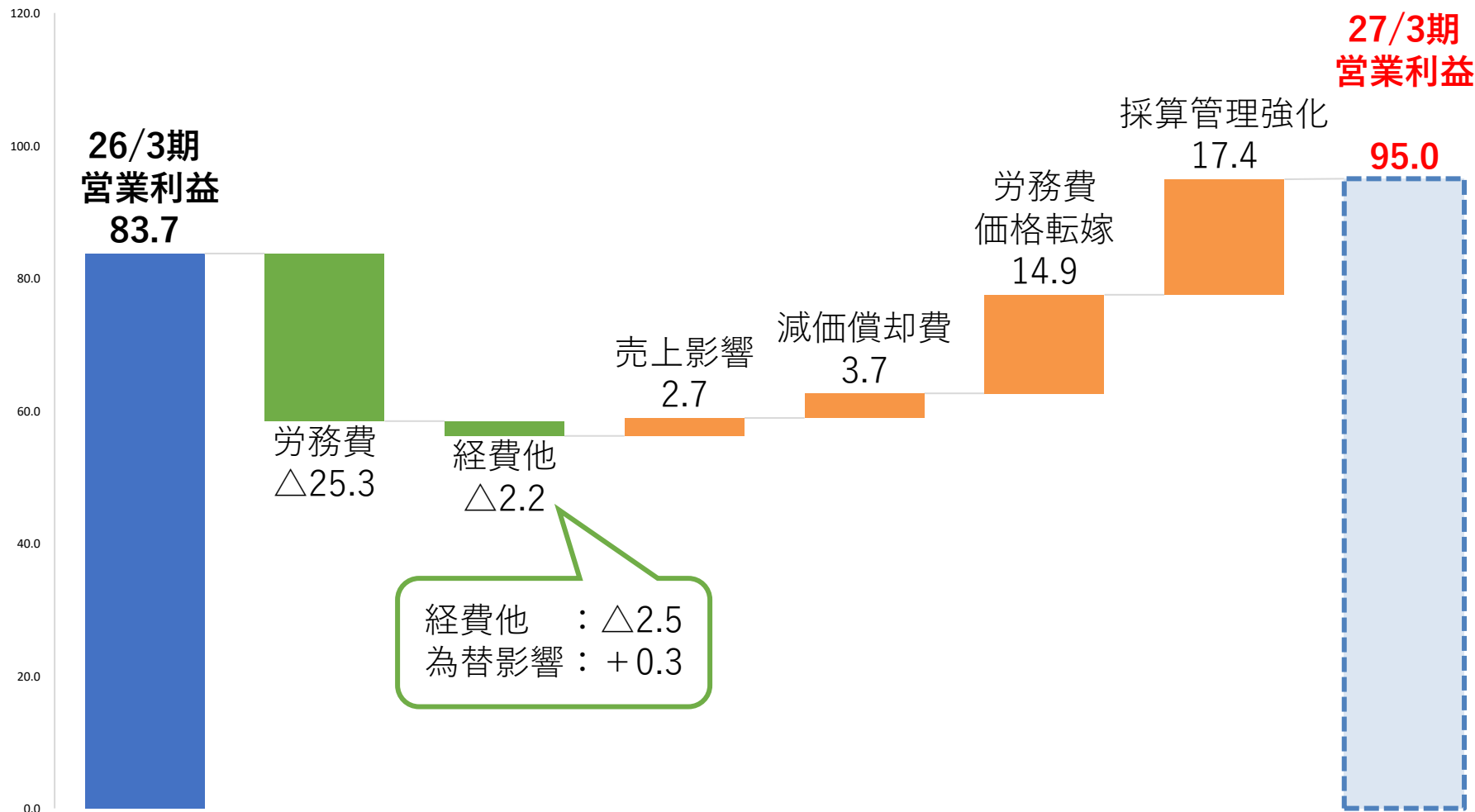
※利益率は売上高比

12月末TTMレート

*予想ROEは、親会社株主に帰属する当期純利益（予想）を用い、直近実績の平均自己資本により算出しております。

連結営業利益の増減要因【予想】

単位：億円



労務費（人への投資含む）増、経費増等により約27.5億円の減益要因が発生するものの、売上増による効果および労務費の価格転嫁、採算管理強化等により約38.7億円の増益を見込む。なお、為替影響は軽微であり、営業利益は2026年3月期比約11.2億円の増益予想。

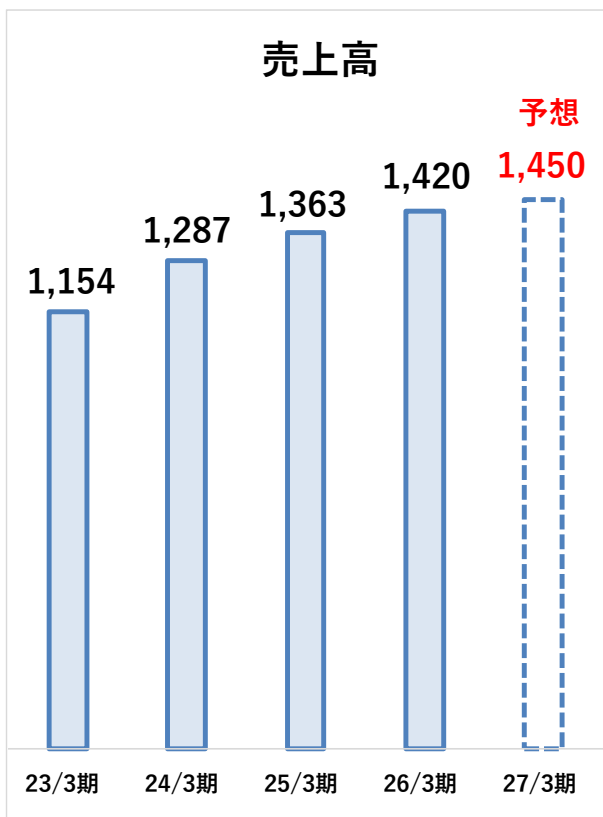
(予想)

<配当金推移>	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期
中間	10円	2円	7円	12円	18円
期末	2円	13円	11円	19円 3円増配※ (予定)	18円
年間	12円	15円	18円	31円 3円増配※ (予定)	36円

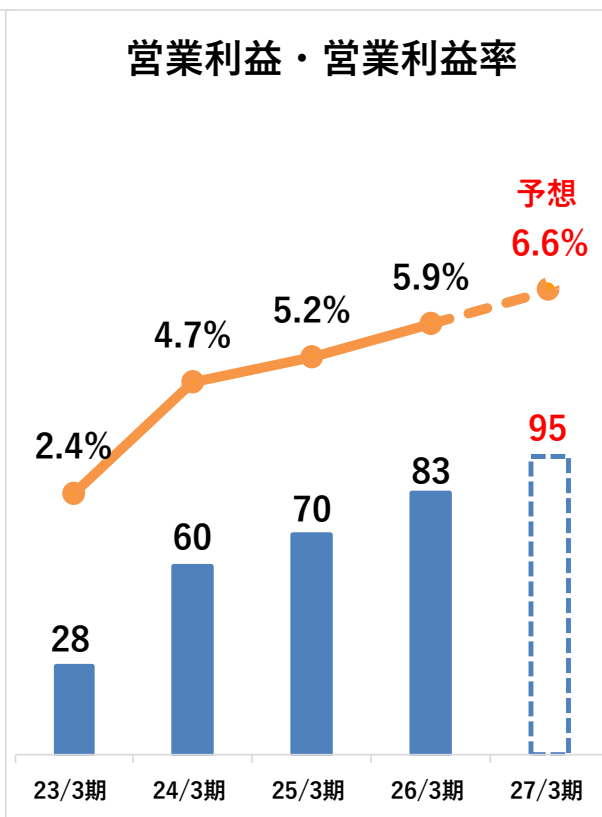
配当性向	—	27.5%	31.2%	33.1%	33.7%
利回り (期末株価ベース)	2.3%	2.2%	3.6%	3.6%	—

2026年3月期の期末配当予想については、2026年2月12日公表から
3円増配の19円（年間配当は1株当たり31円）へと修正いたします。

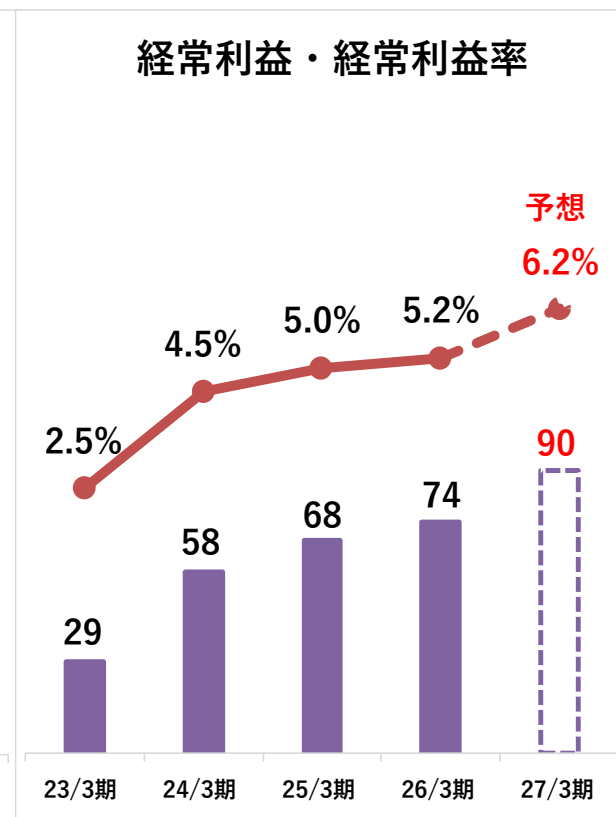
売上高



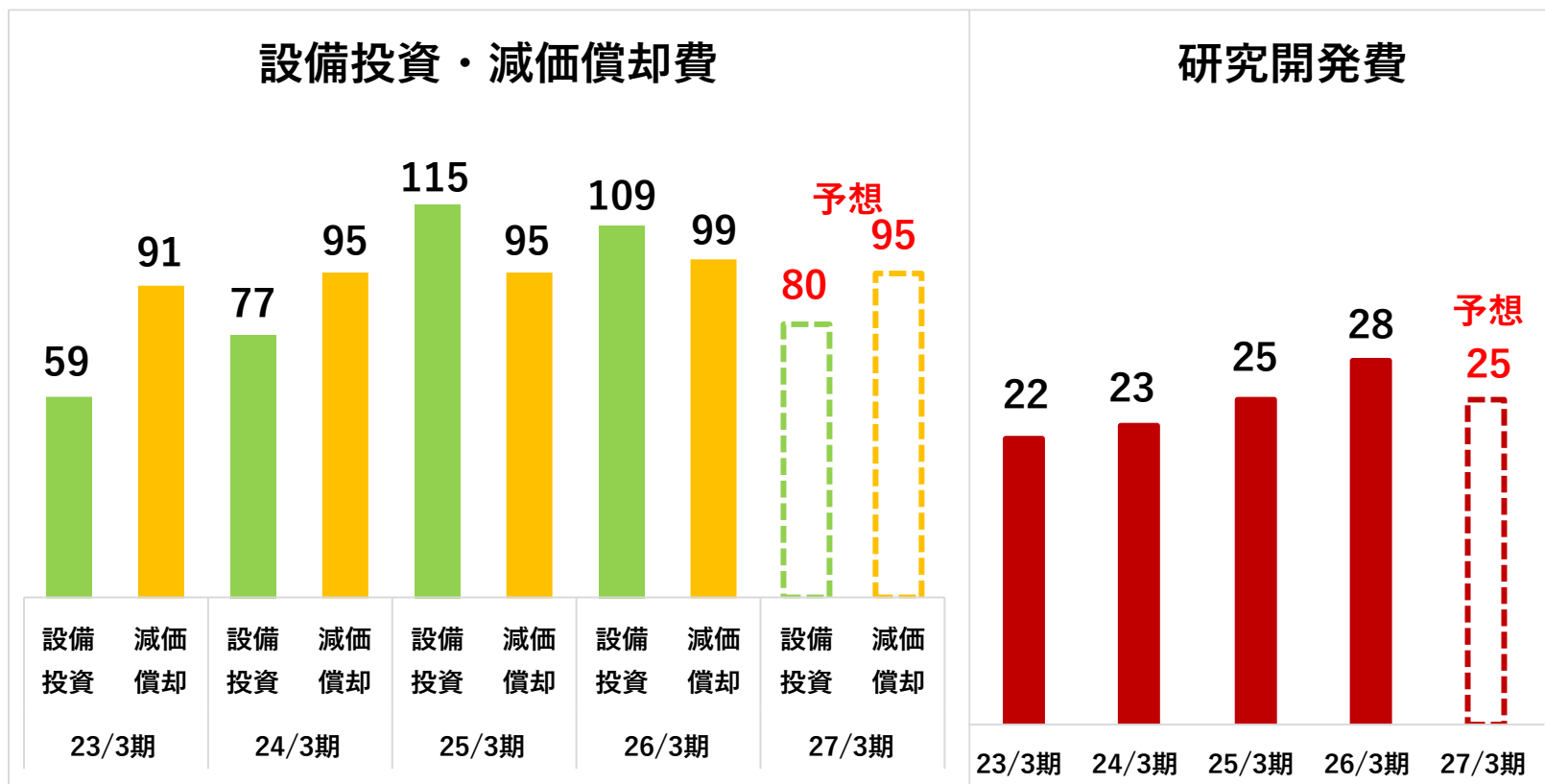
営業利益・営業利益率



経常利益・経常利益率



※利益率は売上高比



前年同期比

セグメント	売上高 構成比	【売上高】		【営業損益】	
		増減額	増減率	増減額	増減率
パワートレイン事業 (旧：自動車用エンジン軸受)	52.5%	3,086	4.3%	521	5.6%
マリン・エネルギー事業 (旧：非自動車用軸受)	13.8%	1,902	10.6%	375	10.1%
ライフ事業 (旧：自動車用エンジン以外軸受)	16.1%	1,990	9.4%	945	30.3%
フロンティア事業 (旧：自動車用軸受以外部品)	16.0%	△ 609	△ 2.6%	606	—
その他	1.5%	△ 178	△ 7.4%	50	12.1%
セグメント間消去		△ 484		△ 1,219	
全体合計：		5,706	4.2%	1,280	18.1%

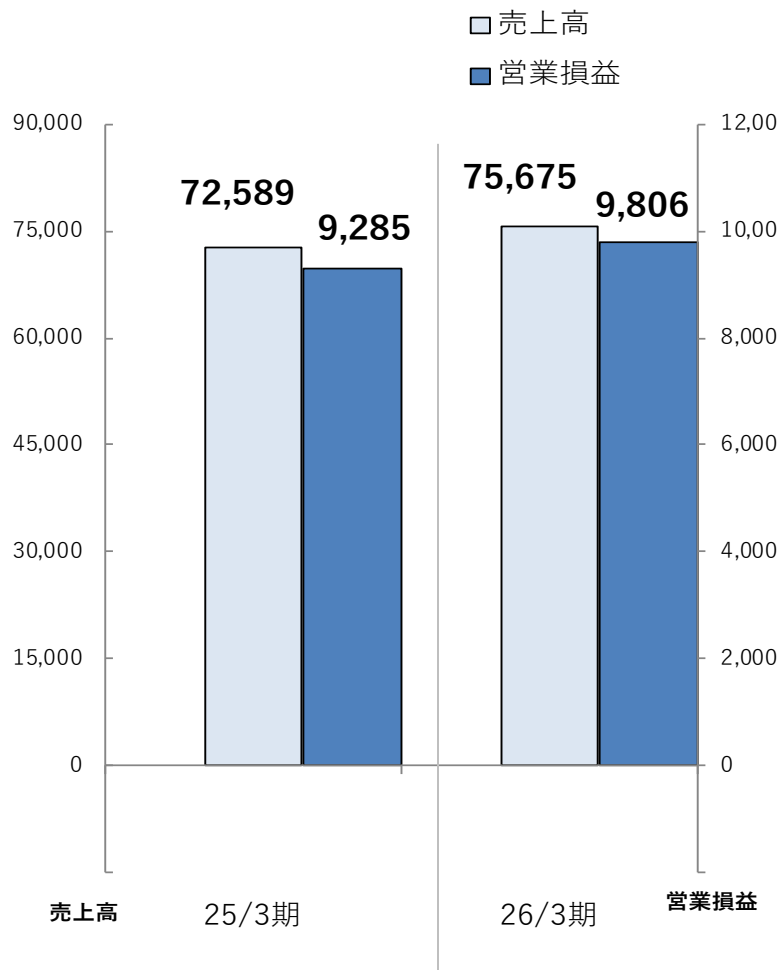
パワートレイン事業

(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：自動車用エンジン軸受

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +3,086 (+4.3%)

- ◎**日本**：乗用車向けの堅調な需要に加え、トラック向け需要の回復や新型車投入に伴う受注増、価格改定の進展
- ◎**韓国**：市場全体の回復やハイブリッド車の好調による受注増
- ◎**中国**：中国メーカーの需要の戻り、プラグインハイブリッド車の販売拡大や中国2輪メーカー開拓による受注増
- ◎**北米**：主に北米メーカーハイブリッド車用の需要やダウンサイジングエンジン向けのシェア拡大による受注増
- △**欧州**：自動車産業の不振やEV化に伴う内燃機関搭載車の需要減

【営業損益】 +521 (+5.6%)

- ◎**日本**：業界需要の回復を背景とした売上拡大に加え、コスト構造の変化を踏まえた価格適正化の進展
- △**北米**：関税環境変化によるコスト影響
- △**欧州**：減収に伴う影響

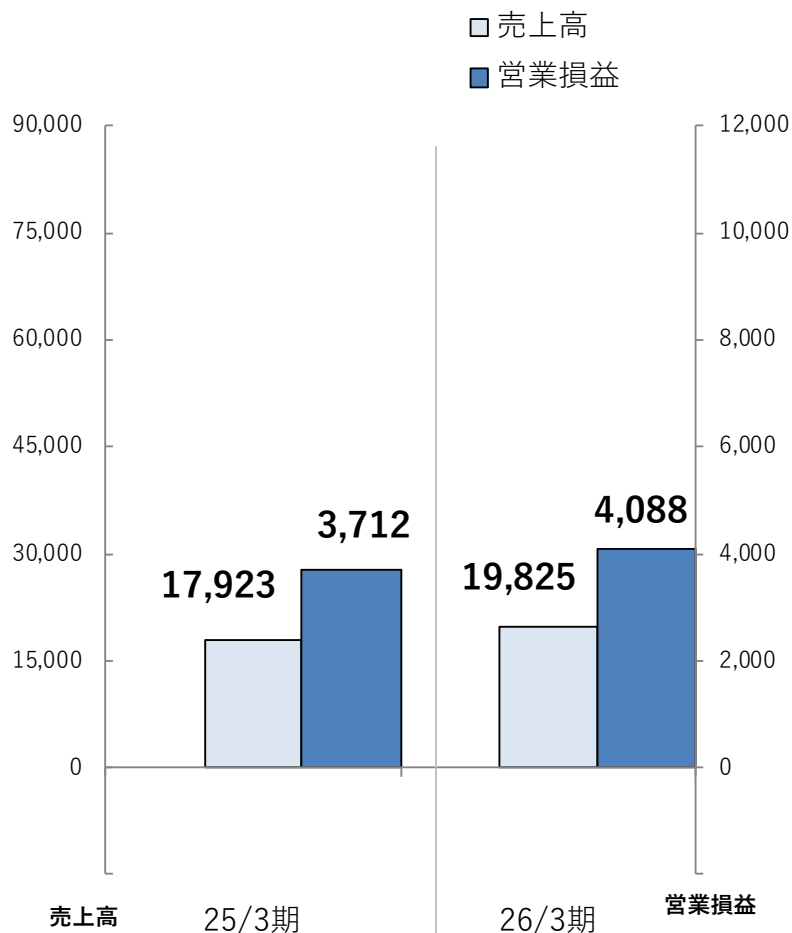
マリン・エネルギー事業

(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：非自動車用軸受

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +1,902 (+10.6%)

◎大型船舶：

新造船市場の好調な需要及び設備増強に伴う供給能力拡大

◎中小型船舶/産業用発電機/建設機械他：

新造船需要の拡大に伴う補機組付け市場の伸長に加え、データセンター向け等の産業用発電機需要の増加並びに中高速エンジン用軸受における転注獲得が寄与し、受注増

◎電力エネルギー/産業用コンプレッサー他：

再生可能エネルギー関連需要の一巡による水力発電機用軸受の受注減を、産業用プラント向けコンプレッサー用軸受の転注獲得により補完し、受注増

【営業損益】 +375 (+10.1%)

◎売上拡大が利益成長を牽引する一方で、需要増に対応した生産能力強化投資を積極的に実施

ライフ事業

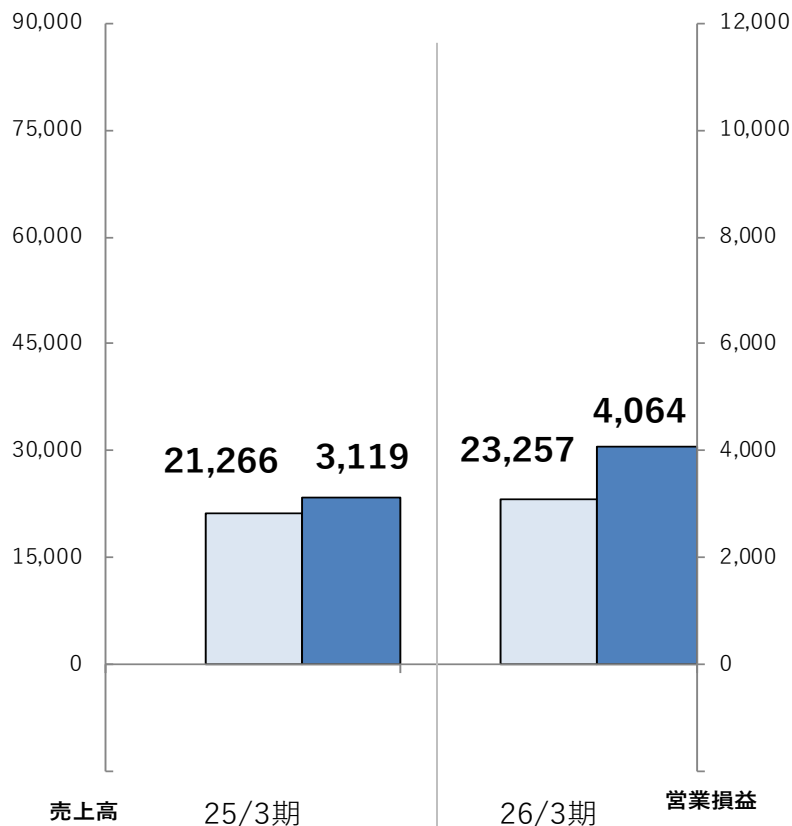
旧：自動車用エンジン以外軸受

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 +1,990 (+9.4%)

- ◎日本：自動車市場の回復（前年の車両認証問題の影響からの反動増）や価格改定の進展
- ◎中国：中国新車販売の中国メーカーにおけるシェアアップに伴う受注増（ショックアブソーバー用軸受）

【営業損益】 +945 (+30.3%)

- ◎日本：外部環境の変化を踏まえた価格適正化が収益改善に寄与

フロンティア事業

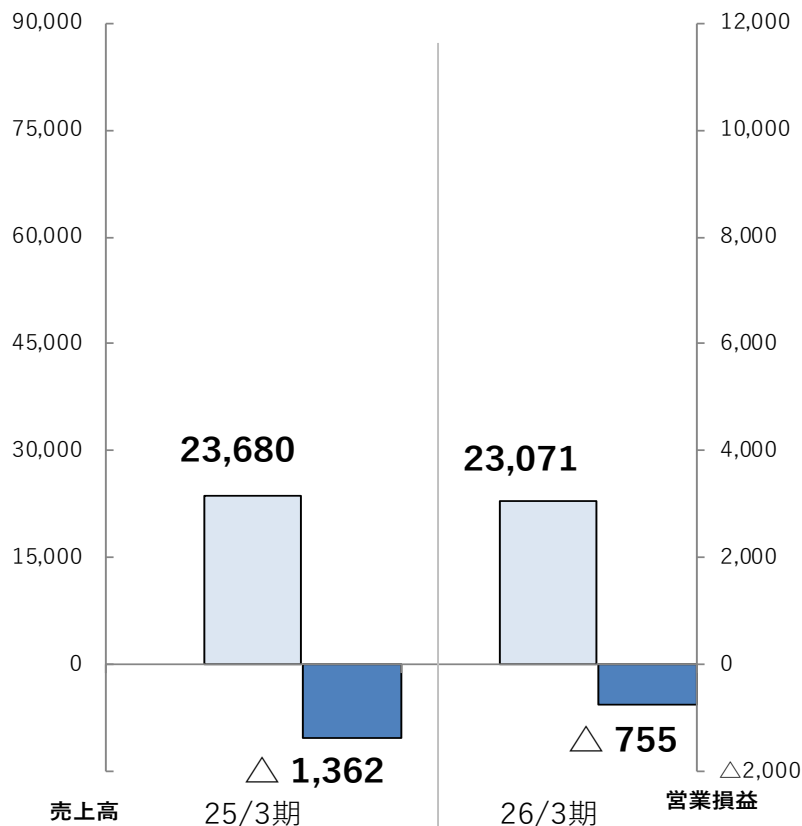
(セグメント間消去前)

前年同期比

旧：自動車用軸受以外部品

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △609 (△ 2.6%)

△アルミダイカスト製品：

日本向け製品一部の生産終了、米国の半導体不足に伴う自動車の需要減少及びタイにおける需要減少に伴う受注減

△精密金属加工部品：

中国での日系自動車メーカーの需要減少、及び製品一部の生産終了に伴う受注減

【営業損益】 +606 (－)

◎アルミダイカスト製品：

営業損失は継続も、輸送費（航空便）削減等により損失幅は縮小

第1四半期は一時的要因により収益が悪化したものの、第2四半期は当該要因の解消により黒字化

第3四半期は金型承認の遅れおよび修正トライアルの増加等により計画を下回ったが、第4四半期は品質改善等の施策効果により再び黒字化

△精密金属加工部品：

納期改善による輸送費（航空便）削減や原価低減は進展一方、需要影響による売上減少や価格改定の反映タイミング、コスト増等が収益に影響し減益引き続きコスト改善を推進

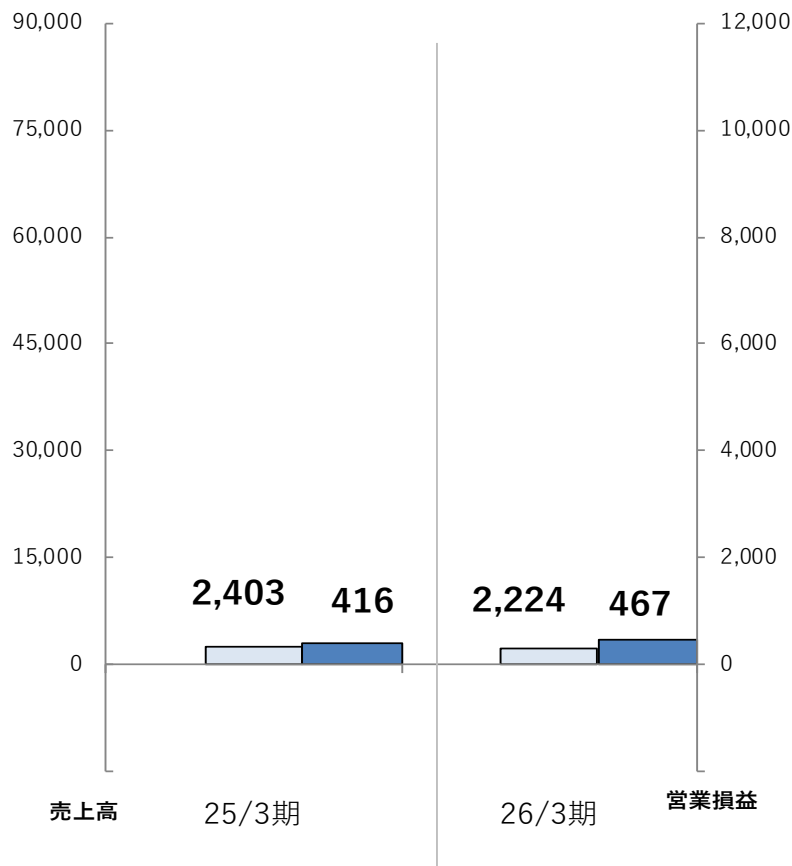
その他

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高
■ 営業損益



【売上】 △178 (△ 7.4%)

△ポンプ関連製品では新規開拓案件の獲得、設備用潤滑装置での受注増があったものの、金属系無潤滑軸受では前年の大型スポット案件の反動による受注減

【営業損益】 +50 (+12.1%)

◎コスト構造の変化を踏まえた価格適正化の進展

※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート等を含んでおります。

前年同期比

所在地	売上高 構成比	【売上高】		【営業損益】	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	51.0%	2,791	3.2%	1,118	25.7%
アジア	26.5%	410	0.9%	860	63.9%
北米	13.0%	351	1.6%	△ 224	△ 17.1%
欧州	9.5%	1,620	10.9%	189	—
内部取引消去		532		△ 664	
全体合計：		5,706	4.2%	1,280	18.1%

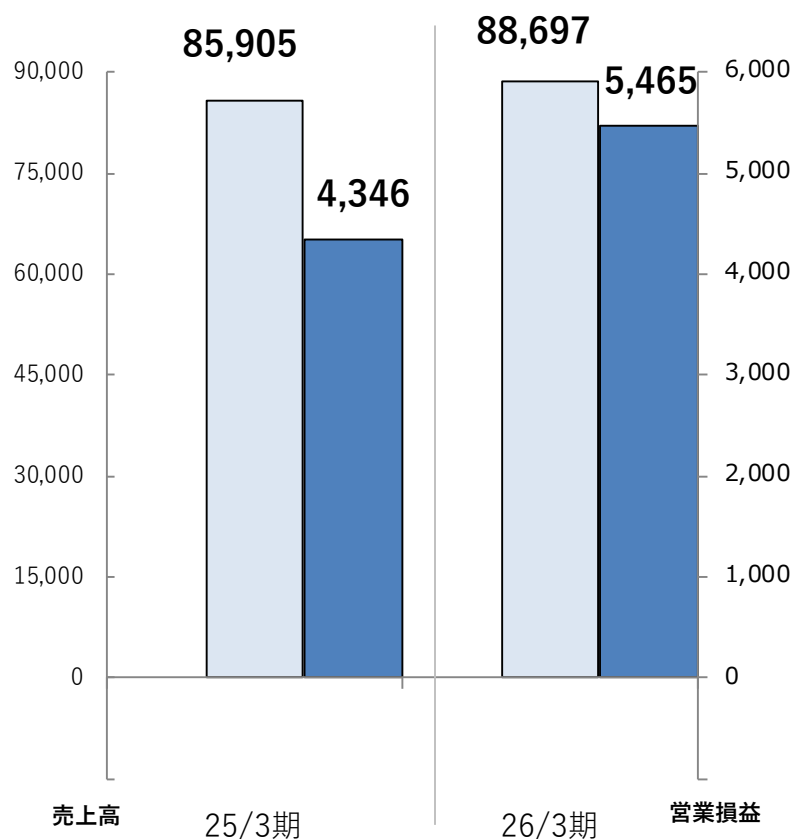
国内

(内部取引消去前)

前年同期比

□ 売上高
■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +2,791 (+3.2%)

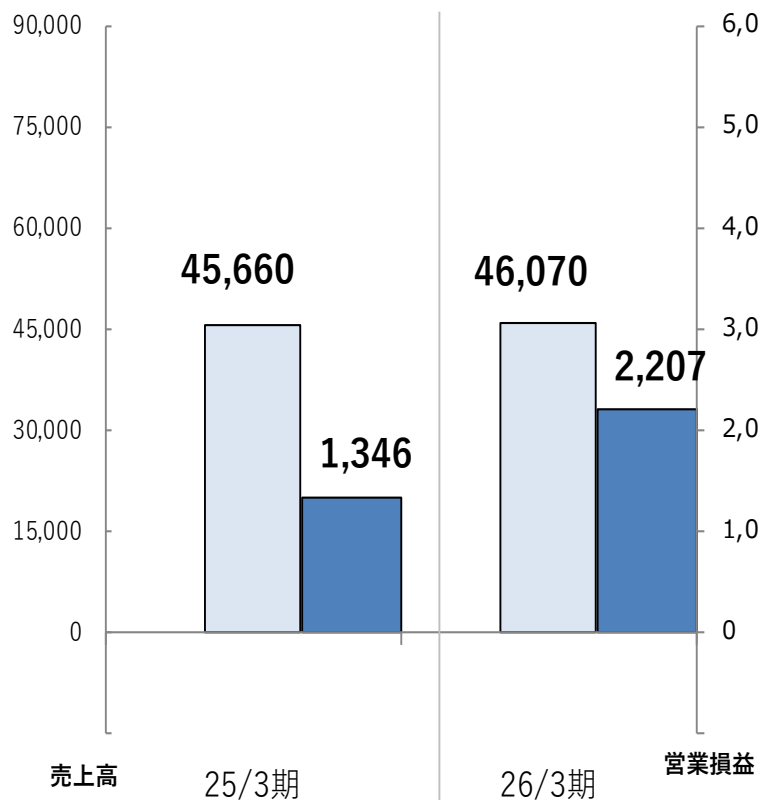
◎パワートレイン事業（自動車関連）における堅調な需要並びにマリン・エネルギー事業における旺盛な需要を背景とした受注増

【営業損益】 +1,118 (+25.7%)

◎業界需要の回復を背景とした売上拡大に加え、コスト削減の推進や販売価格の適正化、採算性改善施策の進展により、収益性が向上

アジア

□ 売上高
■ 営業損益



(内部取引消去前) ◎増収/増益要因 △減収/減益要因

前年同期比

【売上】 +410 (+0.9%)

◎韓国 自動車用エンジン軸受：

市場全体の回復やハイブリッド車の好調による受注増

◎中国 自動車用軸受：

堅調な需要や中国新車販売の中国メーカーにおけるシェアアップに伴う受注増（ショックアブソーバー用軸受）

△アルミダイカスト製品：

日本向け製品一部の生産終了、米国の半導体不足に伴う自動車の需要減少及びタイにおける需要減少に伴う受注減

△精密金属加工部品：

中国での日系自動車メーカーの需要減少、及び製品一部の生産終了に伴う受注減

【営業損益】 +860 (+63.9%)

◎韓国 自動車用エンジン軸受：増収による影響

◎タイ 自動車用軸受：

労務費・経費削減の推進を通じた売上原価の低減

◎アルミダイカスト製品：

生産効率化の推進によるリードタイム短縮等により、輸送費（航空便）が低減し損失幅が縮小

◎精密金属加工部品：

生産能力増強に伴う納期改善により輸送費（航空便）が低減し収益に寄与したものの、需要減少による減収の影響もありつつ、結果として利益を確保

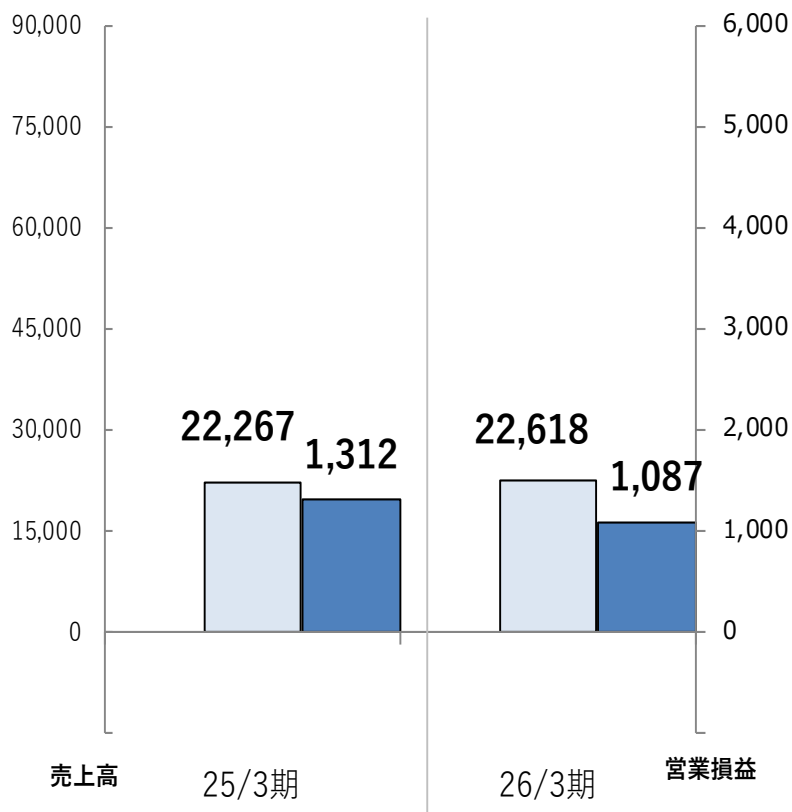
北米

(内部取引消去前)

前年同期比

□ 売上高
■ 営業損益

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



【売上】 +351 (+1.6%)

◎ パワートレイン事業（自動車関連）における底堅い需要が継続
データセンター向け中高速エンジン用軸受の受注増

【営業損益】 △224 (△17.1%)

△ 関税環境変化によるコスト影響
△ **精密金属加工部品**：
材料費や労務費の上昇に対する価格反映の遅れにより、収益を押し下げ

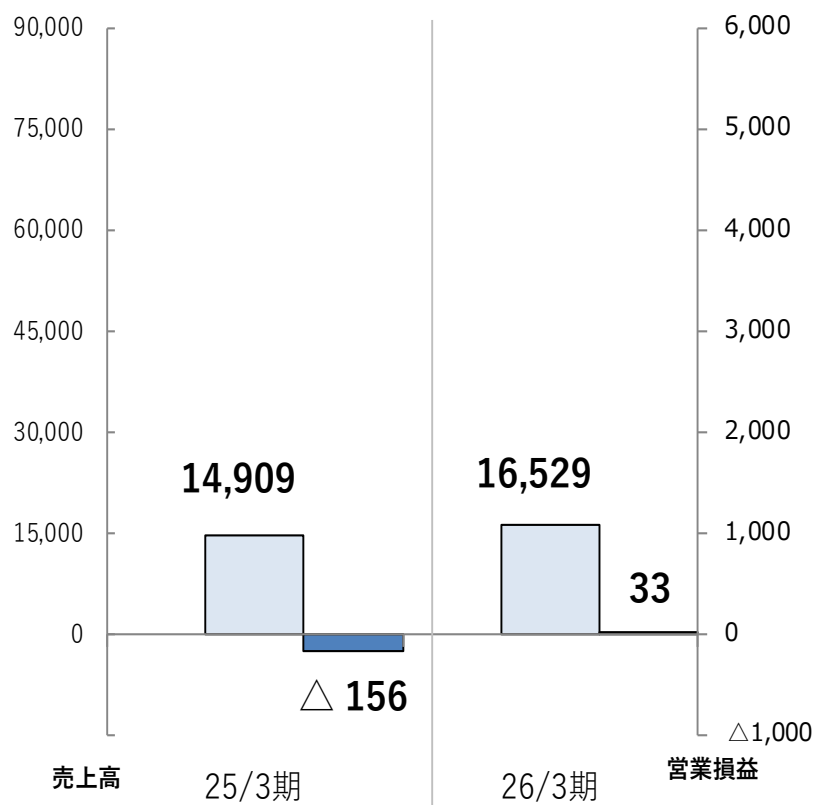
欧州

(内部取引消去前)

前年同期比

□ 売上高
■ 営業損益

◎増収/増益要因 △減収/減益要因



【売上】 +1,620 (+10.9%)

△自動車産業の不振やEV化に伴う
自動車用軸受の受注減

◎円安による影響

【営業損益】 +189 (-)

◎円安による影響

Supporting Your Movement.

あらゆる動きを支えて 豊かな暮らしに貢献する

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものでありますが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、当社グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました業績見通し概要などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て
比率：表示単位未満を四捨五入

